

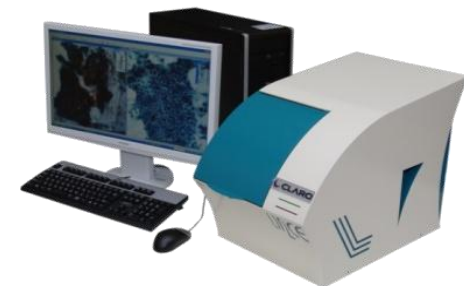
患者の迅速な治療方針を決定する為の高機能診断支援システムの開発

H22補正

公益財団法人21あおもり産業総合支援センター
(株)クラーロ (株)弘前機械開発 東芝メディア機器(株) 弘前市立病院
弘前大学医学部附属病院 高崎健康福祉大学 岐阜医療科学大学

病理医不足による治療方針決定の遅延が課題

- テーラーメイド医療への未対応
- 病理医は診断専門性が高く、早急な対応に難がある。
- 画像取得装置が高価な為、普及していない。



現行最小機種LINCE

(サイズW400mm × D310mm × H350mm)



開発したバーチャルスライド装置FINO

(サイズW442mm × D304mm × H123mm)

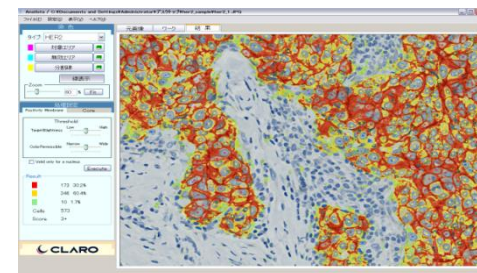
安価な装置と高機能解析技術で課題解決

- (株)クラーロが有している画像解析技術を用いることにより診断を自動化し、迅速な診断に貢献する。
- 装置をより小型化設計し、購入価格帯を1500万円前後から300万円前後にすることにより画像取得装置が普及し診断効率が向上。

株式会社クラーロ:高度な画像解析技術による事業展開

病理検査分野において病理標本の褪色防止、半永久的保存、デジタルデータ化、遠隔医療などのニーズがあり、高度な画像処理、解析技術を有する株式会社クラーロが2000年に設立、2003年には業界初バーチャルスライドシステムを開発販売した。今後は産学官連携で共同開発を行い、海外市場の更なる展開を目指す。

(青森県弘前市、資本金 2.4億円、従業員数 14人)



開発したHER2自動診断支援アプリケーション